

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和8年2月号

ね

そ

守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



1月26日は文化財防火デー！消防訓練を実施しました！

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日の早朝、法隆寺（奈良県）の金堂で発生した火災により国宝の壁画が消失。その後も松山城（愛媛県）や松前城（北海道）など、文化財の火災が相次ぎました。これにより「先人たちが残した文化財を火災から守ろう」という世論が高まり、昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年から1月26日を「文化財防火デー」とし、文化財の防火設備の点検や消防訓練などを実施して、文化財を火災から守る意識を高めてきました。ユネスコ世界文化遺産に登録されているノートルダム大聖堂（フランス）や、首里城跡（沖縄県）において大規模な火災が発生し社会的な注目を集めたことは記憶に新しいと思いますが、白川村でも近年火災が複数発生しており、日々の防災意識を高めることに加えて「文化財防火デー」に、改めて防災について考える機会を持つことも大切ではないかと思えます。

さて、今年の「文化財防火デー」は、1月26日（月）午前、明善寺付近において、高山消防署白川出張所、教育委員会、消防団、施設関係者らによる消防訓練が実施されました。消火栓や放水銃の操作訓練の他、令和6年に実施した、荻町重要伝統的建造物群保存地区防災計画の策定に伴う住民アンケート結果から、軒下消火栓（屋内消火栓）の操作認知が弱いことが明らかとなったことから、屋内消火栓の操作訓練を実施しました。放水銃と同様に、住民誰でも操作に慣れておくことが大切なので、消防設備の操作方法に不安がある方は、早めに確認のうえ、操作方法を習得しておくのがいいのではないかと思います。

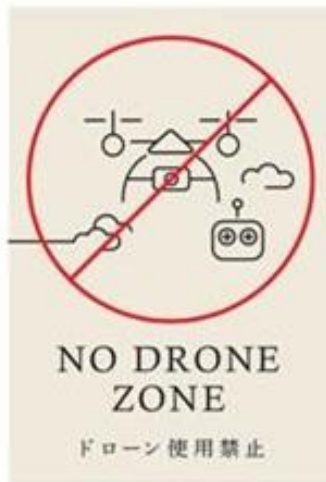
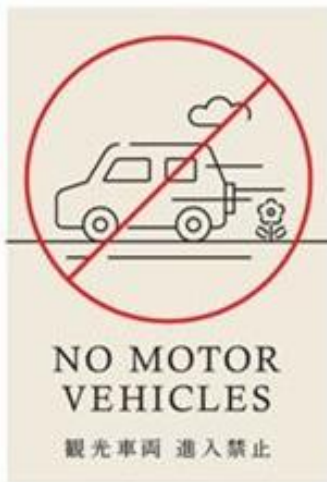
空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。日々の除雪で余裕がない方も多いと思いますが、屋外の消防設備の管理もご自宅の管理や家事と同様に「暮らしに必要なこと」であると考え、雪からの掘り起こしをお願いいたします。隣近所の方と声をかけあい住民みんな協力して、冬を乗り越えましょう。



マナー啓発公式ピクトサイン看板（注意喚起看板）を活用して 景観と暮らしを守ろう！

守る会では行政と連携して、観光客に対するマナーリングを目的とした公式ピクトサインを制作しています。急増する訪日外国人観光客に対する言語の問題や、多種多様なデザインの看板が乱立することで景観を乱すことのないよう、景観に調和したピクトサインです。ピクトサインの種類は「ポイ捨て禁止」「敷地内侵入禁止」等、下記の7パターンがあり、サイズはA3サイズとA4サイズの2種類。サインにはイラストが入っており、どの国の方でもわかりやすいデザインです。

守る会では、公式ピクトサイン普及のため、荻町住民及び事業者の皆さまへ無料で配布いたします。2月寄合で取りまとめますので、ぜひお申し込みください。



ゴミ問題等に関する発展会からのお願い ～「きれいな白川郷」を守るために～

- ① 観光事業者は、ポイ捨てに繋がるゴミが生じないように努力しましょう。
- ② 店舗等周辺のゴミ拾いを積極的に行いましょう。
- ③ 観光客からゴミ処分の申し出があった際は、他店舗のゴミであっても“お互い様”の精神で快く引き取りましょう。
- ④ タバコのポイ捨てによる火災がないよう見かけたら注意しましょう。

1月の活動報告 ※3月の定例会は10日(火)19時を予定（公民館和室にて）

1日 元旦祭（会長） 13日 ねそ1月号発行（総務部） 随時 旧寺口家屋根雪おろし（福田）
9日 定例会 22日 旧寺口家消防設備点検（福田）

2月の協議事項（現状変更申請に関わって） 2月10日開催

白川村建設課・・・舗装工事